

令和5年度 建設部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性						
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。						
	令和5年度の実施状況報告						
	04-01 安全な暮らしの確保						
	・第2次空家等対策計画の策定を行ったほか、空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による空き家等の発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、所有者等への情報発信や相談への対応を行いました。						
政策 05 都市基盤	政策展開の方向性						
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。						
	令和5年度の実施状況報告						
	05-01 市街地整備の推進						
	・市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新築団地の建替えを進めていましたが、令和5年10月にF棟(49戸)が完成し、「新築団地建替事業」が終了しました。						
	05-02 交通環境の充実						
	・安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の都市計画道路や拡幅などが必要な幹線道路等の整備に取り組み、利用者が安心して通行できる道路環境づくりを進めます。令和5年度は、幹線道路等の整備に向けた測量、実施設計、工事、用地取得及び物件補償などを行いました。						
	・冬期間の交通の確保では、降雪や道路状況に応じた除排雪作業を実施したほか、前年の取組に関する検証や、除雪車両の増強等による除排雪体制の強化、LINEや地デジ広報の活用による情報発信の強化等を図るとともに、除排雪三者懇談会等による市民ニーズの把握や市民理解の促進に努めました。						

政策の成果指標	単位	(初期値)	R3年度	R4年度	R5年度	目標
市街地整備に満足している市民割合(顔づくり(~R2年度まで)、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	81.9	82.0	84.5	↗
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	57.2	59.0	61.6	↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「新栄団地建替事業」 建替戸数	戸	48	241	241	290	↗

2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	

3. 建設部の資源

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	4,875,577	3,891,120	5,322,086	4,612,683	5,609,332
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	4,875,577	3,891,120	5,322,086	4,612,683	5,609,332
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	72.00	69.00	68.00	66.00	66.00
	平均単価 (b)	7,687	7,629	7,607	7,604	7,433
	人件費 (a×b)	553,464	526,401	517,276	501,864	490,578
総 額		5,429,041	4,417,521	5,839,362	5,114,547	6,099,910